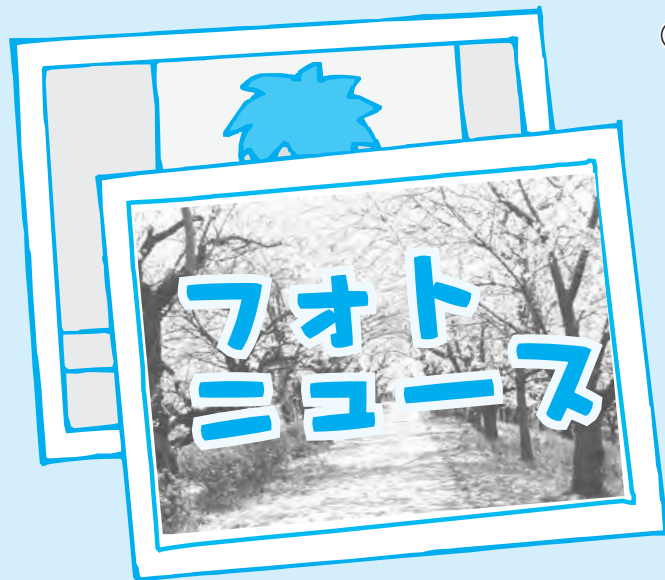




## 文化祭

第53回目となる文化祭が開催されました。11月2日(土)・3日(祝)には、メイン会場のアスカル幸手で、市内で活動しているみなさんのステージ発表や作品展示が行われ、多くの来場者を楽しませていました。また、11月16日(土)には、ウェルス幸手で子ども囲碁大会が行われました。



## 幸手クラシックカー・フェスティバル

11月10日(日)権現堂公園幸手桜堤で、第18回幸手クラシックカー・フェスティバルが開催されました。会場を訪れた多くのクラシックカーファンは、展示された歴代の名車に魅了されていました。

## 若草俳句会

「秋の山・重陽・蟬鳴」  
あき やま ちようよう とりなづ

蟬鳴が

ヒカソンの顔で睨みおり

松本光弘・栄六

杣人の

腰の鈴鳴る秋の山

大熊三郎・北三

先駆けて

一樹染まりぬ秋の山

高花春子・南三

蟬鳴に

威嚇されつつ物干し場

青木澄子・高須賀

蟬鳴の

頑張ってゐる長屋門

長須蜻蛉子・中四

遠山の

影の重なる秋の山

相馬あゆ・平須賀

菊の日や

ローカル線で友の来る

鵜野美子・中五





## 教育相談の充実に向けて

### 学校教育課

平成 25 年度学校基本調査(速報値)における平成 24 年度の埼玉県の不登校の児童・生徒数は 5484 人と、平成 23 年度に比べて 207 人減少してはいますが、まだまだ多くの児童・生徒が不登校で悩んでいる状況です。

幸手市においても、不登校の児童・生徒数は毎年度減少しているものの、残念ながら未だ解消には至っていません。

市教育委員会では、これまでも各中学校に 1 人ずつ「さわやか相談員」を配置し、登校不安や「中 1 ギャップ」の解消などを図ってきました。加えて、旧保健センター内の「心すこやか支援室」では、児童・生徒の学校復帰を目指した学習や生活面での教育支援のほか、来所だけではなく電話での教育相談にも応じています。

また、平成 25 年度から、より多くの相談に対応できるよう、各中学校に新たに「ふれあい相談員」を 1 人ずつ配置しました。小学校の巡回や、さわやか相談員との連携により、教育相談の一層の充実を図っています。

市教育委員会および心すこやか支援室では、子どもや保護者の悩みに対応できるよう、随時教育相談に応じています。お気軽にご相談ください。



相談窓口 学校教育課 ☎(43) 1111 内線 632  
心すこやか支援室 ☎(42) 0356

## 文芸幸手第 15 号が刊行されました

11 月 3 日(祝)に刊行された文芸幸手には、随筆、短歌、詩など、大人だけではなく市内幼稚園児、小・中学生の作品も多数掲載されています。社会教育課、中央公民館、図書館で頒布(1冊 500 円)していますので、ぜひ、ご覧ください。



## 東中学校保育体験授業

10 月 30 日(水)東中学校の 3 年生が家庭科の授業で吉田幼稚園を訪問しました。園児と一緒に折り紙を折ったり、柿を獲ったり、園庭で鬼ごっこをしたりと、お互いに楽しい時間を過ごしました。



## 秋の自然観察会

10 月 22 日(火)秋の自然観察会を開催しました。参加したみなさんは、長瀬町の県立自然の博物館を見学後、荒川の岩畳などを散策しました。

### 燎原短歌会

冬桜見しを

いづこと夜の床に

思ふまなうら

はつか紅さす

西澤政江・中四

土つきの大根

さげて訪ね来し

叔父の太き声

耳にのこれり

堀山徳子・中四

これの世に受けたる

傷を嘗めてくれ

時のやさしさ

舌疑はず

長下部主作・東五

雑踏に

ハイヒールの音コツコツと

若かりし日の

私の音あり

大熊昭子・東五

花を摘む

庭に仰げば

朝空に白く残れり

昨夜の名月

野村信子・戸島

天井の木目は

人の顔に似て

時に楽しく

又悲しくも見ゆ

小野原綾子・緑台一